

令和2年7月2日
全学内部質保証委員会決定
令和3年5月19日
全学教育内部質保証委員会一部改正

教育学部 教育の質保証ガイドライン

教育学部では、当該学部学科での教育プログラムにもとづいて修得した知識、技能ならびに態度の評価を以下の通り行います。また、教育プログラムの内容、授業の方法が適切に実行されているかを以下の通り検証します。

1. 評価の内容と方法

(内容)

教育学部は、実践的指導力を備えた教育従事者の育成を目的としているため、教育職員免許法に準拠してカリキュラムを構成しています。幼稚園、小学校、中学校・高等学校（教科）、特別支援学校、養護の教員免許の取得を促すことにより、学校種の枠を超えて対応できる教員の養成を行っており、そのため、主として教職に関する科目群と、教科に関する科目群を中心として単位が取得できるように、専門科目を配置しています。いずれの専攻・専修も教育目的に合わせて講義を主体として、演習と実験・実習をバランス良く組み合わせ、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法が採用されています。

講義科目では、知識とその応用力を主として評価します。

実験・演習・実技科目では、知識とその応用力を評価します。さらに、技能、態度、コミュニケーション能力についても評価します。

(方法)

知識とその応用力については、筆記試験、レポート等によって評価します。

成績評価は各科目ともシラバスに評価方法と基準を明記し、100点満点で採点します。評価対象は筆記試験、レポート、実技試験、口頭試問、討論への参加状況、プレゼンテーション等です。それらに授業への出席状況を加え、到達目標に対応させて総合的に評価します。

卒業認定について、卒業要件を定め、教授会の議を経て行っています。

2. 評価の基準

学位授与方針に基づき、成績評定基準を定めて学生便覧に掲載するとともに、シラバスに評価方法と基準を明記して、多様な観点からきめ細かな成績評価を行います。

専門科目のシラバスには授業の目標や学習内容、授業計画、予習・復習に関する指示が示され、成績評価の方法と基準も明示（掲載）します。成績は「秀（100～90）」「優（89～80）」「良（79～70）」「可（69～60）」「不可（59以下）」の5段階の標語と評点をもって判定し、「可」以上を合格として単位認定します。

5段階評価にそぐわない科目については、「合」又は「否」の評語で表し、「合」を合格として単位認定します。これらの評価基準（配点は除く）を学生便覧に明記するとともに、入学時のガイダンスや授業の履修指導時に説明します。

また成績の評点は「GP(各科目のグレードポイント)=(評点-55)÷10」（但し、0.5未満の場合は0.0とする。4.5点満点）に換算し「GPA=Σ(GP×当該科目の単位数)÷履修総単位数」を算出して学生に提示します。

なお、成績評価が「合」「否」「認定」の科目はGP算定の対象としません。また、カリキュラム上の卒業要件科目でない科目もGP算定の対象としません。

卒業認定（基準）は、教務委員会が教養科目と専門科目の必修単位の取得状況、基幹免許状や卒業研究の単位を取得しているか確認した後、教授会で判定します。

3. 教育プログラムの点検と評価

教育学部の教育プログラムについての点検と評価を実施する教育学部教育質保証委員会を設置します。当該委員会は、教職IR室と連携し、5名以上の委員で構成されます。

学部の特性から、授業改善に関連した研究・講義を行い、学校現場の研究授業の助言も含め研修会に参加しているのが現状で、また、静岡県域を中心とした教育界に有為の学校教員を送り出すという使命に徹する学部として、教員養成に取り組んでいます。教科内容についての専門的な知見を深めながら、子どもたちの発達段階に応じた授業づくりの力を高めています。さらに、子どもたちの心身の実状を内在的に理解して寄り添うための知見を深め、生活指導の力を高めています。そして、教師として共通必須の力量を備えたうえで、各自がそれぞれの強みを選びもち、その後の教職生活も通して伸ばしていくことに

つなげる教職キャリア形成プログラムを実施しています。プログラムに関連する授業では、教職履修カルテ等の学びの記録を活用しながら、他者との対話やグループディスカッションを通し PDCA 的な省察を重ねていき、点検と評価を段階的に進めます。

教員養成を担う学部の教育プログラムの点検と評価として、授業アンケート、IR 調査の結果等の分析による点検(教職 IR 室においてはデータを整理、一元化)、その点検結果にもとづく評価を実施し、教育内容および教育方法の改善案を作成し改善を実施します。

こうした点検・評価の実施状況については、全学教育内部質保証委員会に報告を行い、教育内容および教育方法の改善の PDCA サイクルの確認等を行います。